

数学の間違い直しのやり方

◆ 授業中にやること

- ① 答え合わせをして間違えたところがあれば、正解を書き問題に**赤で間違いマーク**をつける。
- ② 自分の解き方の**どこが間違えていたのかを確認する**。
- ③ 解説を聞いて『**解き方**』、『**ポイント**』を書く。

◆ 家でやること

- ① まず**前回の直し**がないか確認して、あればやる。
(なければ「なし」と必ず書く)
- ② **授業の直し**をやる。授業ノートを見ないで、間違えた問題をもう一度解く。(なければ「なし」と必ず書く)
- ③ 解いたら授業ノートで**答えを確認して○付け**をする。
(間違えていたらもう一度やり方を確認して、別に解き直す。
もし解けなければ、『**わかりません!**』と**赤で書く**。)
- ④ 自分がなぜ間違えたのか『**間違えた理由**』を書く。
(色ペンを使う)
- ⑤ 『**ポイント**』を書く。(色ペンを使う)
- ⑥ **小テストの直し**をやる。(授業の直しと同じ)
- ⑦ あれば**類題**をやる。(なくても自主的にやったものは**課題**として見ます。) **○付け**を忘れずに!

◆ サンプル

日付を書く

ページと番号を書く

4/9

・前回の直しなし

・授業の直し

P.16 3 (2) $(-3) - (-5) - 4 + 2$

$= (-3) + (+5) - 4 + 2$

$= -3 + 5 - 4 + 2$

$= -3 - 4 + 5 + 2$

$= -7 + 7$

$= 0$

④ この符号を変えてしまった!

⑤ カッコの前のマイナスに注意!!

P.17 4 (3) $(-\frac{1}{2}) + \frac{3}{4} - (-\frac{2}{3}) - \frac{1}{6}$

$= (-\frac{1}{2}) + \frac{3}{4} + (+\frac{2}{3}) - \frac{1}{6}$

$= -\frac{1}{2} + \frac{3}{4} + \frac{2}{3} - \frac{1}{6}$

$= -\frac{6}{12} + \frac{9}{12} + \frac{8}{12} - \frac{2}{12}$

$= -\frac{6}{12} + \frac{9}{12} + \frac{8}{12} - \frac{2}{12}$

$= -\frac{6}{12} + \frac{15}{12}$

$= +\frac{9}{12}$

$= +\frac{3}{4}$

④ 約分忘れ!

⑥ 分数の計算は最後に約分できないか必ずチェックしよう!!

『間違えた理由』は、どこを間違えたかわかるように書こう!